

平成27年深谷市教育委員会第12回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成27年深谷市教育委員会第12回定例会

日 時 平成27年12月15日(火)
開 会 午後1時30分
閉 会 午後2時30分

場 所 教育庁舎 3階 大会議室

出席委員 教 育 長 小 柳 光 春
教育長職務代理者 柿 沼 敬 一
委 員 井 上 美佐子
委 員 清 水 巖
委 員 橋 本 幾 子

出席職員 教 育 部 長 澤 出 晃 越
次 長 植 竹 敏 夫
次 長 片 桐 雅 之
教育総務課長 葦 塚 洋 明
教育施設課長 吉 田 稔
学校教育課長 島 崎 祐 子
生涯学習スポーツ 吉 岡 恵 子
振興課長補佐
渋沢栄一記念館長 坂 倉 茂
図書館長 島 田 久 一

書 記 教育総務課 加 藤 昇
課 長 補 佐

欠席職員 生涯学習スポーツ 岡 田 真
振興課長
文化振興課長 鳥 羽 政 之

1 開会

教育長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第11回定例会の会議録を全員異議なく承認

3 会議録署名委員の指名

教育長が井上委員を指名

4 会議の概要

(1) 会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
- ② 報告2 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 平成27年度小・中学校及び幼稚園の遊具・体育器具点検について
教育施設課長より説明
- ④ 報告4 大寄幼稚園・豊里幼稚園に係る休園対応について
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 第4回子どもの暗唱を楽しむ会について
学校教育課長より説明
- ⑥ 報告6 平成27年度ころざし深谷国際塾について
学校教育課長より説明
- ⑦ 報告7 平成27年度第2回ころざし深谷科学塾実施報告について
学校教育課長より説明
- ⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「ころざし第25号」（平成27年12月発行）について
学校教育課長より説明
- ⑨ 報告9 平成27年度深谷市チャレンジ最終報告について
学校教育課長より説明
- ⑩ 報告10 平成28年度埼玉県学力・学習状況調査への参加について
学校教育課長より説明
- ⑪ 報告11 平成27年度第2回深谷市学校教育振興懇談会について
学校教育課長より説明
- ⑫ 報告12 平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進に係る文部科学大臣表彰の受賞について
学校教育課長より説明
- ⑬ 報告13 平成27年度「埼玉県教育委員会表彰」等受賞者について
片桐次長より説明
- ⑭ 報告14 平成27年11月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
片桐次長より説明

発言の要旨

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育総務課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

② 報告2 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

③ 報告3 平成27年度小・中学校及び幼稚園の遊具・体育器具点検について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 吊金具が磨り減って、事故が起きています。そのところを毎月、定期点検していただけたら、ありがたいなと思います。ニュースで見たのですが、吊金具がどんどん薄くなってきて、ポキッと折れてしまうことがあるそうです。

教育施設課長 11件の中にも、そのようなものが、かなりの数含まれています。毎月行っている学校の点検の中にも、吊金具の定期点検をするように学校に周知します。

教 育 長 次回の校長会で周知をお願いします。

④ 報告4 大寄幼稚園・豊里幼稚園に係る休園対応について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑤ 報告5 第4回子どもの暗唱を楽しむ会について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑥ 報告6 平成27年度こころざし深谷国際塾について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑦ 報告7 平成27年度第2回こころざし深谷科学塾実施報告について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑧ 報告8 深谷市教育委員会だより「こころざし第25号」(平成27年12月発行)について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
井 上 委 員 子供達のラインに親が入ってしまい、一緒に行くという状況が起きているようなんですが、その辺は耳に入っているのでしょうか。生徒・児童よりも保護者の意識改革を行うべきだと思うのですが、その辺はどうでしょうか。
教 育 長 ラインに親も入ってきているということです。安心ふっかネットを行っていますが、親自身への対応はどうなのでしょうか。
学校教育課長 実際に、部活動などの連絡網として、顧問が保護者のラインに回すというような、良くない実態がありました。個人的な内容を含め、保護者のライン等を活用して、情報を伝達しないように、具体的に校長会等で指導したところです。
また、連合PTA会長を中心に、臨時児童生徒協議会にもいろいろ御意見をいただきました。ネットに関するいろいろな動きについて危機感を持ち、保護者の中でも約束を守って取り組んでいこうということを、連合PTA会長から各学校のPTAやPTA会長に流していただいて、各PTAの中で話し合い、それを連合PTAに吸い上げて、深谷市の連合PTAとして教育委員会や児童生徒協議会とともに啓発していき、取り組んで守っていこうという動きを作っています。
井 上 委 員 それを是非やっていただきたいと思います。親が子供と同じ立場になって、悪口を書き込んでいる現状があります。親は一步上の立場で、子供に指導する側です。もっと親として

の意識を持つように、どこかで話していただかないといけないと思います。

片桐次長 補足します。児童・生徒間のトラブルに、親が加わってきて、非常に難しくなる事例が多くなっています。それがラインを使ってとなると、顔が見えない状況でのやりとりになります。携帯教室で、各校長から保護者に話してもらうのも、勿論なんですけど、なかなか親御さんがそういった場に来ないという意見もありました。それならば、各学校のPTAとPTA会長を中心に、親御さんの携帯教育に取り組んでもらう必要があるだろうということで、今年度、大人版の安心ふっかネットを、連合PTAが提言することを目指しています。大人のルールを作る中で、子供のラインの中に入っていくこと自体を考えないといけない、ということを加えながらやっていきたいと思っています。

教育長 私から補足説明をします。
1つは、委員も参加した11月29日の青少年健全育成深谷市民大会で、藤沢中学校の1年生の女子が、ネットトラブルについて悩んでいる実態を、非常に上手に発表していました。1つの方向性を求めていく、という意見を立派に述べていましたよね。子供同士では、そういう動きがでてきています。
もう1点は、PTAを対象に、11月21日の土曜日にアドニスで大里・児玉・秩父のPTAとネットトラブルについて役員研修会を行いました。文部科学省等から講師を招いて、半日研修会を行いました。私も参加したのですが、親が自ら示さないと駄目だということで、講師もはっきり参加者に話していました。井上委員からの御指摘を、連合PTA会長等に伝えて、そうした方向からの取組を進めていきたいと考えています。

⑨ 報告9 平成27年度深谷市チャレンジ最終報告について

教育長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教育長 本報告について、質疑はありませんか。

片桐次長 20ページの「2深谷市チャレンジ認定級の割合」について一部修正があります。修正した割合のみ申し上げます。

(1) 小学校(算数)の最終認定級の割合ですが、ポップは30.5%、ステップは55.3%、合計100.0%です。

(2) 中学校(数学)の最終認定級の割合ですが、3級は32.5%、2級は47.0%、1級は8.7%、特1級は7.0%、合計100.0%です。

(3) 中学校(英語)の最終認定級の割合ですが、3級は31.7%、2級は30.8%、1級は23.9%、特1級は8.8%、合計100.0%です。

⑩ 報告10 平成28年度埼玉県学力・学習状況調査への参加について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 今年の全国学力学習状況調査の結果を受けて、学力向上についての取組が始まっていると思うのですが、その進捗状況について教えてください。

また、授業の指導方法の変化はあったのでしょうか。

教 育 長 2点質問がありました。

1点目は、埼玉県学力学習状況調査と全国学力学習状況調査の2つの結果を受け、学力向上に向け、深谷市はどんな取組をしているのかということです。

それと関連し、2点目は、授業改革の実態はどうなっているのかということです。

この2点についてお願いします。

学校教育課長 今年度の結果を受け、市全体として、新たな取組をしなければいけないと思いました。毎月の校長会で学力向上協議会議という時間をとり、各校長先生方と各学校の学力向上の取組について協議を行い、優れた実践について発表していただく時間をとっています。

また、以前お示ししましたが、深谷市授業スタンダード、教科ごとに更に細かく示したベーシックを各学校に配布しました。具体的な授業改善としては、見通しと振り返りをしっかりさせ、話し合いを行うことによって理由や根拠を述べ、意見を言えるような授業をするように努めています。

それらの取組をするとともに、「プリントボックス」という、いつでもプリントがとれるような環境作りをし、全国のB問題を子供たちが手軽に解けるような取組をしています。

そして、現在、学校訪問が終盤になっていまして、各学校においては、授業スタンダードを基に各学校の授業作りの研究を進めています。それにより、ある程度授業スタンダードについては改善が図られているのかなという実感がしています。今後も、全教職員が同じベクトルで学力向上に向かっていけるような指導を、継続していきたいと思えます。

井 上 委 員 学校訪問のときに、スタンダード、ベーシックの利用の仕方が定着できているかどうか等、助言、支援は各教科担当の指導主事がどの程度行っていますか。

また、学力は悪い結果になっていますが、体力は全国的には埼玉県がかなり良い数値が出ています。目に見えるものと見えないものについて、各分科会等でどの程度指導主事が関わっているのか教えてください。

教 育 長

2点質問がありました。

1点目は、授業ではベーシックを活用していますが、具体的にどのように指導しているかということです。

2点目は、体力に係るデータ発表がありました。深谷市の子供の実態はどうかということです。

2点お願いします。

学校教育課長

学校訪問に参りまして、各教科の分科会というものを4人や5人で行っています。少ないときは1対1で行っています。そのときに、担当指導主事が授業スタンダードやベーシックを持って行きます。

例えば算数ですと、授業とベーシックを見て、1つ1つのチェックポイントを確認します。見通しは持てているか、学習内容を明確に示してあるか、話し合い活動が充実しているかという項目が、チェックできるようなベーシックとなっていますので、ベーシックのできあがっている教科については、それを示して全校でそのように指導をしています。

また、教科によっては、スタンダードだけでチェックしているところもあるのですが、必ず、どこの学校におきましてもスタンダードを基に、授業の改善状況について分科会で示すようにしています。

体力については、市全体の状況について今年度のものを示してなくて申し訳ないのですが、深谷市としては埼玉県内の中でも上位の方の体力を示してしまして、今年度もそのような状況でありたいと思います。委員がおっしゃられたように、学力の達成率は低かったんですが、朝食を食べているかということや、夢や目標を持っているか等、そのような深谷市が目指している項目については、国や県の数値と比べて、深谷市は大変上回っていると思いますので、今後も目に見えない心の部分を大事にしていきたいと思っています。

⑪ 報告11 平成27年度第2回深谷市学校教育振興懇談会について

教 育 長

事務局より説明を求めます。

学校教育課長

(概要を説明)

教 育 長

議案25ページで補足説明等がありますか。

学校教育課長

25ページの横版のものは、文科省から示されたものを深谷版として作った案です。深谷版学校運営協議会の主な役割を示しています。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に、

「教育委員会が学校や地域の実情に応じて、学校運営協議会を置く学校を指定する」と示されています。その内容としては、校長が作成する学校運営の基本方針を、この学校運営協議会の場で承認していただき、学校運営に関する意見を、学校運営協議会の委員さんたちから、校長に述べていただきます。それを参考にして、学校運営を進めていくという形になっています。

25ページの図を御覧ください。学校運営協議会のある学校を、コミュニティ・スクールと呼びます。教育委員会は、そのような学校運営協議会を置く学校の指定を行い、委員の任命を行います。図の真ん中に、学校運営協議会がありますが、ここでは保護者代表や地域の皆さんの代表など、学校や地域の特色に見合った委員さんを選ぶことができます。

図の右側を御覧ください。校長は学校運営の基本方針を学校運営協議会に説明し、学校運営協議会から承認されます。それに沿って教育活動を行っていくことによって、地域における学校の存在意識も高まり、家庭地域の教育力の低下を止めて、より元気な学校、元気な子供、元気な地域を作り上げ、地域総がかりで時代を担う子供達を育成します。

教 育 長 深谷版コミュニティ・スクール（F c s）というものを目指して、学校側と話し合いながら努めている状況ですが、只今の報告について、御意見、御質問等がありますか。

井 上 委 員 1つお願いがあります。学校運営そのものを、各学校長が行っていますが、地域住民にそれが伝わるのは、毎月回覧される学校だよりです。その中に、校長としての運営方針が少しでも書いてある学校だよりと、行事関係のみしか書いていない学校だよりでは、住民の受け止め方が全く違うと思います。学校を核とし、地域に広め、一体化し、協力してもらうのであれば、校長としても文章を一行でも二行でも書くべきだと思います。

教 育 長 学校だよりの記載について、実態はどうですか。

片 桐 次 長 教育委員会でも、全ての学校、幼稚園から毎月発行していただいている学校だよりを読ませていただいています。実情、井上委員のおっしゃるとおりだと思います。校長先生が責任を持って全て作り上げる学校もあれば、一部を教務に分担している学校もあると思います。行事にとらわれ過ぎて行事で終わってしまっているものもあれば、逆に校長色が強過ぎて考えだけを書いているものもあります。そのため、中庸をとって校長先生の運営方針を入れながら、学校行事や子供たちの姿を紹介してくように校長会等を通じて働きかけて、どこの学校でも同じように、校長先生の考えも分かり、学校の様子もよく伝わる園だより、学校だよりになるように教育委員会としても指導していきたいと思います。

教 育 長 次回の校長会で伝えていただきますようお願いします。

⑫ 報告 12 平成 27 年度優れた「地域による学校支援活動」推進に係る文部科学大臣表彰の受賞について
教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

議案の 26 ページは河田コーディネーターと栗田校長ですね。
文部科学省には河田コーディネーターと栗田校長が行ってきた
ということですね。

学校教育課長 はい。

⑬ 報告 13 平成 27 年度「埼玉県教育委員会表彰」等受賞者について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

片 桐 次 長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

補足します。優良教育施設として深谷公民館が表彰されました。今年
の施設表彰は深谷公民館だけです。深谷の公民館が高く表彰され、特色
のある活動をしている深谷公民館が表彰されました。

⑭ 報告 14 平成 27 年 11 月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

教 育 長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第 1 回定例会は、1 月 12 日（火）午後 1 時 30 分開会
です。

以上で、平成 27 年深谷市教育委員会第 12 回定例会を閉
会します。